

— はるな生協の現況 —  
(2018年5月31日現在)

組合員数 23,137人  
出資総額 433,050,500円  
一人平均出資額 18,717円

組合員のみな様へ。氏名、住所変更をされた方は、組合員活動部までご連絡ください。

電話 027(323)2762

# 緑十字

ISO9001認証取得

はるな生活協同組合

高崎市上中居町1461-1  
電話 027(388)0011  
(毎月10日発行) 1部10円  
発行人 櫻井康喜

## 6月号

# 家族でかかれる診療所

## 通町診療所

高崎駅西口から歩いて10分足らずのまちなかに位置し内科診療所、居宅介護支援事業所、デイケア(通所リハビリテーション)あんしんセンターを併設しています。地域にしっかりと根を下ろした活動を紹介いたします。

### 通町診療所

家庭医の平所長を中心に、赤ちゃんからお年寄りまで家族でかかれる診療所です。健康なときも、病気のときも、お困りのことがあればお気軽にご相談できます。



訪問診療を行う松尾医師

外来医療のほか、各種予防接種や健康診断も行っています。大人だけでなく、お子さんの予防接種も対応していますので、予定をされる際にはぜひご相談ください。他にも、もの忘れが気になる方や、タバコをやめた

いと思っっている方のお手伝いもしています。また、在宅医療(往診)にも力を注いでいます。患者さんが、できるだけ住み慣れた場所で療養できるように、高崎中央病院をはじめとする医療機関や訪問看護ステーション、調剤薬局、ケアマネージャー等と連携しながら、支援させていただいています。通院が難しくなってきた方は、定期的に医師がお宅に伺う訪問診療をご案内できます。

皆さんのかかりつけ医として、地域の方から頼りにしていただける診療所です。皆さんのかかりつけ医として、地域の方から頼りにしていただける診療所です。事業所は、通町診療所の3階にあります。雨にも負けず・暑さにも負けないように、市街地を中心に自転車に乗って各ご家庭に訪問し、その方に必要なサービスを調整しています。時には、ご本人やご家族の困りごとや悩み事を、一緒に考えながら解決できるように支援しています。どのようなケースでも受け入れていきます。扉は常にオープンな

### 居宅介護支援事業所

今まで元気に在宅で生活されていた方が、何らかの病気になる必要介護認定を受けられても、「出来る限り、住み慣れた家や地域で生活していきたい。」という希望がみなさんあると思います。少しでもその思いに沿えるようにしていくことが、私達の仕事です。

所であるよう、よりいっそう職員一同励んでいきます。

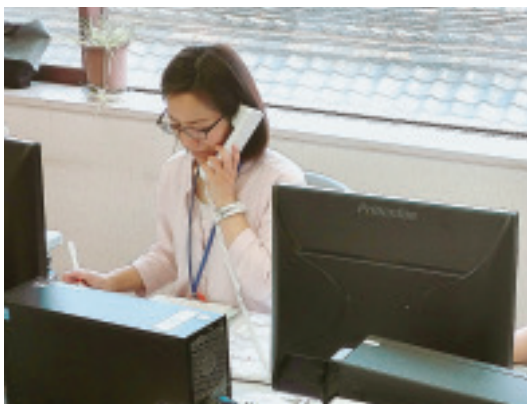
### 通町診療所 デイケア



集団体操を行うデイケア利用者のみなさん

通町デイケアは、生活上で必要な入浴動作や着替え・トイレ動作などを、2015年、はるな生協は高崎市から委託され通町診療所の3階に「高齢者あんしんセンター通町」が開設されました。

住み慣れた地域でいつまでも安心して、そのらしい生きがいのある生活を継続できるよう、本庁長寿社会課と市内29ヶ所に地域包括支援センターの窓口を設け、「高齢者あんしんセンター」の愛称で活動しています。職員は、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員等の各専門職がチームとなり、中央・南・城南小学校区を担当しています。



電話相談をうけるあんしんセンターの職員

ので、相談事でもなく、近くに来られた時には、お立ち寄りください。お待ちしております。

## 高齢者あんしんセンター通町

また、ボランティアさんの協力も得ながら、季節感のある様々な行事(上毛カルタ大会・お花見・夏祭り・運動会・クリスマス会など)にも参加していただいています。2015年にリハビリマシンの導入し、利用者の方から「筋力アップして自宅の玄関の段差を楽に上がれるようになった」など好評いただいています。皆さんが末永く住み慣れた場所で生活できるように、これからも関わらせて頂きます。

その主な仕事は、介護、健康、福祉、医療に関する「よろづ相談窓口」です。地域では、体操教室や煩カフェ(認知症カ

はるな生活協同組合  
QRコード

### 虹

3月に急逝した父はその日の日記に「アメリカ兵にやられる夢を見た」と記していました。気が強く、泣き言など言わなかった父が戦後70年以上経つてもそんな夢を見ていたとは、驚くと同時に戦時を生きたことがどんなことだったのか、改めて考えさせられました。▼敗戦後生まれた日本国憲法九条には戦争放棄が掲げられ、日本は二度と戦争をしないことを世界に明言しました。60年代に激しさを増したベトナム戦争では、沖縄が米軍の攻撃基地となっても、日本は戦死者を出さず、本は戦死者を出さず、近衛、南スーダンに派遣された自衛隊でさえ直接の戦闘行為は行わずに済みました。それは憲法九条に守られていたからこそだと思えます。▼安倍首相、政府与党の改憲案は九条第二項を残し第二項の二に自衛隊を位置づけようとしています。自衛隊が憲法に合わないのなら憲法に合う自衛隊にするのが本来なのに▼日本国憲法の誕生した背景には300万以上の国民の犠牲があります。北朝鮮を脅威と仮想し、憲法を変えようという声が高まる風潮を戦中生きた人たちはどんな思いで聞いているのでしょうか。私たちはきちんと過去に向き合い、未来を考えなくてはいけません。(走)





### 生活習慣病の対策の必要性

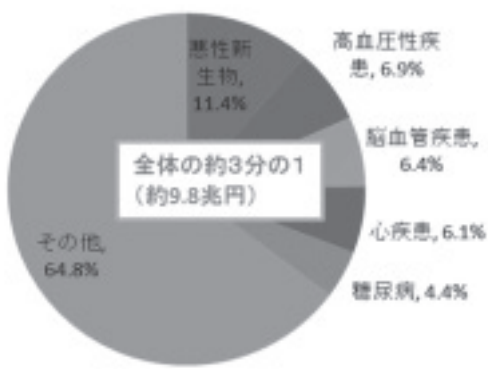
高齢化の急速な進展に伴い、疾病構造も変化し、死亡原因でも生活習慣病が約6割を占め、医療費が占める生活習慣病の割合も国民医療費の約3割となつています。

合併症への進行の予防に重点を置いた取り組みが重要であり、喫緊の課題となつています。

国民の受療の実態を見ると、高齢期に向けて生活習慣病の外来受療率が徐々に増加し、75歳頃を境にして生活習慣病を中心とした入院受療率が上昇しています。不規則な食生活や運動不足等の不健康な生活習慣がやがて糖尿病、高血圧症、脂質異常症、肥満症等の生活習慣病の発症を招き、通院し投薬が始まります。そして、生活習慣の改善が無いままに、重症化し、心疾患や、脳血管疾患等の発症に至るといふ経過をたどることになります。

これらは、若い時から生活習慣の予防により防げるものです。生活習慣の境界域段階で留めることができれば、通院を減らすことができま

※表…医療費の割合



す。また、重症化や合併症の発症を抑え、入院に至ることも避けることができま

### 特定健康診査

(特定健診)

平成20年度4月から、医療保険者に対して40歳以上の加入者を対象とする、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための健康診査が義務付けられました。これが、特定健診です。健診の項目は、①身体測定②血圧測定③尿検査④血液検査⑤医師の診察(詳細な項目として、必要な場合、貧血検査、心電図検査、眼底検査)です。高崎市では、無料で受診が出来ます。

高崎市国保(後期高齢者ドック)のおすすめ

特定健診は、あくまでもメタボリックシンドロームに着目した健診です。特定健診では物足りないと感じている方には、国保(後期高齢者)ドックをお勧めします。市の補助でドックを受けられるため大変格安な料金になっていきます。検診総額、税込36,720円のところ、助成21,000円で、本人負担は15,720円です。さらに、当院の組合員さんの場合、本人負担、税込7,080円でドックを受ける事が出来ます。(後期高齢者ドックは、自己負担8,080円になります) 国保ドック項目

通所介護サービスを紹介しします ②7「どろみ剤」について 噛む力が弱り、飲み込む力が落ちてくると、食べ物がいきなり喉に入った時にむせてしまったら、誤って気管に入った原因になります。これを防止するため「どろみ剤」を使う事が2つの予防・効果が期待されます。 【1】液状の食材・飲み物が喉へ流れ込むスピードを遅くします。 加齢や、病気の為、飲み込みのタイミングが合わなくなり、むせてしまうので水分や、液状の食べ物飲み込みやすく調整するために使います。 【2】粘度をつけ、食べ物をもとめやすく・飲み込みやすくします。 食べ物噛みすりつぶした後、飲み込むために舌や唾液でまとめるのですが、唾液分泌が少なくなってきたり、舌の機能が低下したりすると、食べ物上手くまとめることができません。そこで、上手に食べてもらうために「どろみ剤」等で粘度をつけて、まとめやすく・飲み込みやすく調整するために使います。 特に「摂食嚥下障害者はスプーン一杯の水で溺れる」という言葉が示すように、摂食嚥下障害をもつ人にとって誤嚥のリスクが最も高い物は水分です。 その為、病院デイケアではムセ込みのある方や、誤嚥のリスクがある方へ水分に「どろみ」をつけています。使うときは図のイメージで調節してありますが、メーカーなど種類がいろいろあり、ご自宅などで調整方法等わからない場合はデイケアまで声をかけて頂ければ相談いたします。 また、「どろみ剤」以外でも片栗粉などでの代用は可能ですが、デンプンを主原料としている為、冷めると「どろみ」が弱くなり、時間が経つと分離したり、唾液などによりデンプンが分解され、ゆるみやよくなるので使用する際は注意してください。

「すこしお」とは… 「少しの塩分ですこやかな生活」を目指す医療福祉士協のとりくみの総称です。 えのきたけのかきたまスープ ①えのきたけは根元を切り除き、長さ半分に切る。玉ねぎは薄切りにする。 64kcal 塩分1.0g 野菜や果物に含まれるカリウムは、体内の余分な食塩(ナトリウム)を体外に出す作用があります。また、香味野菜やスパイスを使うことで薄味をカバーしてくれます。 男性でも簡単に作れる一品です。是非お試しください。 最後に加えるレタスですが…ほどよくしんなりして美味しいです♥ (高崎中央病院栄養科 管理栄養士)

「すこしお」レシピ ②レタスは一口大にちぎる。 ③鍋に水と顆粒ブイヨンを入れて火にかけて、煮立ったら①を加えて1~2分煮る。 ④②を加え、塩とこしょう、ガーリックパウダーで調味する。 ⑤卵を割りほぐし、④に細く流し入れてすぐに火を止める。 ⑥器に盛り出来上がり。(1人分の栄養価) ① 1g ② 2g ③ 3g



# 2017年度活動のまとめ(案)

第66期通常総代会に提起する事業報告(案)の概要は以下の通りです。

## 事業活動の概況

### 1. 重要な事業活動の内容

～略～

### 2. 事業の経過及びその成果

#### (1) 利用の状況

①医療事業の利用者は、入院は病床の運用改善に努め、増加しました。外来は、診療単位減等から病院をはじめ通町や歯科診療所でも減少しました。訪問看護は増加しました。

②福祉事業の利用者は、訪問看護や訪問介護など訪問系事業が増加する一方、通所系は、高齢者住宅併設の通所介護(デイサービス)は大幅増だったものの、ほほえみの通所介護、病院と通町の通所リハビリ(デイケア)は減少しました。短期入所(ショートステイ)は、地域の施設閉鎖の影響もあり、また高齢者住宅は2施設ともほぼ満室状態を維持し、ともに大幅増でした。

③病児保育のびのびは、体制を充実させ利用者が増えました。高齢者あんしんセンター通町は、総合事業の本格化に伴い、担当地域内で頼りにされています。

#### (2) 損益の状況

①事業収益は入院、外来ともに予算を達成しましたが、材料費(薬品費等)が高み、人件費も増加したため、収支は厳しい結果となり、当期剰余500万円でした。

②事業所別の経常収支では、在宅福祉総合センター、歯科診療所、通町診療所が黒字で、病院、ほほえみの杜、虹の家が赤字でした。病院の収支の悪化が大きく、ほほえみの杜と虹の家は赤字ながら前年より大幅に改善しました。

③入院収益は、一般病棟で地域包括ケア病床の増床(一般病床から転換)が先送りになったものの、病床の運用改善や診療単価の増加により予算を上回りました。外来収益は、高額薬剤を使用する症例等があり予算を上回りましたが、これを除くと横這いでした。健診は、オプション検査を増やすなどして増収に努めました。送迎による通院援助や医療と介護の連携を強めて増収をめざしてきました。

④福祉収益は、引き続き高齢者住宅虹の家の稼働増や訪問看護の利用者増により、大幅な増収となりましたが、居宅介護支援や通所リハビリ等は悪化しました。ショートステイは、経営改善に努めた結果、利用者も増え、収支も大きく改善しました。

⑤設備投資は、別棟屋上防水工事(病院)、電話設備更新(通町、ほほえみ)等を行いました。リースでは、X線一般撮影用フラットパネルディテクタや特殊浴槽、病棟ナースコール設備、腹腔鏡下手術システムの更新(病院)、Pacs(医用画像保管伝送システム)(通町)、送迎車等車両(病院、歯科、ほほえみ、本部)の入替等がありました。

#### (3) 財務の状況

①総資産は、6,146万円減少して27億3,572万円となりました。現預金は僅かに減少しました。

②借入金は、リファイナンスにより長期借入金10億4,000万円、当座貸越3億6千万円となりました。年度返済を軽減し、長期的な視点から財務を管理していきます。現在の借入金比率は約51.2%です。

③組合員出資金は、481万円増えて4億3,251万円になりました。

④自己資本比率は15.2%となりました(指標による)。

### 3. 各分野の状況

#### (1) 医療活動

##### (高崎中央病院)

①地域での役割を見定め、それに合わせた病床機能の転換を図るため、コンサルタントを導入して病床運用の効率化と改善を行いました。

②在宅療養支援病院として引き続き24時間365日の在宅医療を提供しました。また、通町診療所や訪問看護ステーション、ケアマネージャーとも連携し、情報共有と事例検討を行いました。

③医師、看護師をはじめとした専門職の確保に努めました。内科医(家庭医療後期研修医)を受け入れ、診療体制の強化を図りました。

④法人年度方針に基づいた品質目標を職場ごとに定め、実行することにより、医療の質の向上と満足度の向上を図りました。

⑤HPH(ヘルスプロモーションホスピタル)加盟めざした活動を開始しました。

⑥原発事故・被ばく問題に取り組み、仲間の病院とともに、被災者や地域の人たちの支えとなる活動について支援し、運動を進めました。甲状腺エコー健診については、今年度も継続して実施しました。

##### (通町診療所)

①患者・利用者アンケートに取り組み、施設の細部の清掃や衛生面にも心配りを進めてきました。また、外来待ち時間の目安を伝える等、接遇の向上に努めてきました。

②外部の研修や発表の場に参加し、取り組みを発表しました。

③認知症の方への接し方を学び、もの忘れ相談件数は3件ありました。

##### (歯科診療所)

①組合員・患者の口の健康増進のために、健康講座などで日常生活の大切さを訴え、治療後には定期的なメンテナンスを訴えてきました。

②安心・安全・信頼の歯科医療をめざし、月1回の医療安全管理委員会を中心に論議・実践し、日常診療における感染予防対策のレベルアップなどを行ってきました。

③在宅や施設への訪問診療を定期的に行いました。また、施設や病棟での口腔ケアも充実させてきました。さらに、個別送迎に積極的に取り組み、総件数で

は前年比160%の伸び率となりました。

④班会に参加し、健康な口づくりへ働きかけを行いました。診療室では、歯周病予防や初期治療など小児から高齢者まで、予防からケアまで包括的な歯科医療を行いました。

⑤歯科研修医を1名受け入れ、初期研修を行いました。

#### (2) 介護・福祉活動

##### (在宅福祉総合センターほほえみ)

①職員体制が厳しいなかで、それぞれの事業所の連携を図り、高齢者の医療・介護の要望に応えるためにサービスの充実に努めました。

②情報収集に努め、利用者の気持ちに寄り添ったサービスの提供を心がけました。また利用者の満足度を高めるため、問題点について議論し、改善について意思統一を図り取り組みました。

③病児保育は、5月に職員を増員し、保育体制の強化を図りました。特に、受け入れ体制を充実させ、安全な受け入れができるように努めました。

##### (介護センターほほえみの杜)

①高齢者住宅は、年間を通してほぼ満室を維持しました。入居希望の待機者がいる状況です。質の向上を目的とした介護技術学習として、オムツの当て方講習を開きました。

②デイホームは、1日平均29.1人となり、利用者数を増やしました。毎月、季節の行事や作品づくりにも取り組み、機能訓練加算算定にむけ体制の充実を図りました。また、毎月多様なジャンルのボランティアさんが慰問で来てくれています。

③ショートステイは、利用者増の取り組みの成果が表れ、1日平均14.2人と大幅な利用者増となりました。積極的に外出レクリエーションや営業宣伝活動に取り組みました。

##### (高齢者住宅虹の家)

①ISO9001(品質管理や品質保証に関する国際規格)認証を取得しました。

②高齢者住宅は、ほぼ満室状態が続き、数人の入居希望待機者がいる状況です。

③デイサービスは、利用者が1日平均20.7人と増え、空きがない状態になっています。内容的にもボランティアの協力もあり、充実してきています。

④訪問介護は、登録ヘルパーの確保により、新規の受け入れも進みました。

##### (高崎中央病院)

①デイケアは、地域包括ケアシステムにおける自立や社会参加を意識したりハビリを積極的に取り組みました。

②従来の訪問リハビリに加えて、言語聴覚士による訪問リハビリも新たに始めました。

##### (通町診療所)

①あんしんセンターでは、認知症サポーター養成講座を8回開催し、302人が修了しました。また、高齢者の全戸訪問をほぼ達成し、実態把握に努めました。

②デイケアでは、目標管理を重視し、リハビリを実施しました。外部学習会にも積極的に参加し、職員の力量アップに取り組みました。

③居宅介護支援事業所は、年間を通じ制限人数(支援専門員1人40人)の90%以上の利用者を確保し、新規の依頼も制限人数内ではお断りすることなく受け入れました。終末期や困難な事例にも対応し、力量を高めました。

##### (その他)

①認知症サポーター養成講座の講師を養成するキャラバンメイトに2人受講しました。

②有償ボランティア「あんじゃねえ」は、協力者25人、延べ170人、活動実績133件(掃除65件、草取り・庭木手入れ32件、片づけ・ゴミ出し26件、話し相手4件、その他5件)となっています。月1回運営会議や協力者のつどいを行うとともに、活動を広めるために「ワンコインランチ」を5回開催しました。協力者が高齢で昨年に比べ減っており、増やすことが課題です。

#### (3) 事業所利用委員会

##### (高崎中央病院)

①虹の箱や地域から54件の意見や要望が寄せられ、各職場と協力しながら改善に努めました。感謝やお礼の言葉についても各職場で共有しました。

②毎月、院内巡視を行い、出された意見や要望箇所などを見回り、利用しやすい事業所づくりをめざしました。

③他生協の利用委員会との交流は、できませんでした。

④「はるな元気塾」に取り組みました。第1回は5月22日に「エンド・オブ・ライフを考える」と題して平洋医師に講演をしていただき、26人が参加しました。第2回は1月30日「健診結果の見かたについて」と題して桜井光世医師に講演をしていただき、20人が参加しました。

⑤委員会として学習を位置付け、「いのちの章典実践ガイドライン」の読み合わせ、意見交換を行いました。

⑥各事業所で行っている個別送迎について、統一の案内を作成し、事業所や地域で活用されています。

⑦「私の意思表示ノート」(エンディングノート)を高崎中央病院倫理委員会と協力して作成しました。

##### (通町診療所)

①第18回ふれあいまつりは、雨天のなか80人が参加し、うたごえと体力測定をメインに開催しました。参加者からは好評で、地域の方と職員の交流は図れましたが、生協活動の宣伝という面ではやや力不足でした。

②「いのちの章典」のパンフレット読みあわせを進め、利用委員会のあり方を検討しました。

③患者・利用者満足度アンケートは、10月に地域組合員の協力を得て取り組み、外来部門の結果を公表しました。待ち時間の案内や環境・衛生面について、改善を図ってきました。



**(歯科診療所)**

- ①事業所の患者満足度アンケートを実施しました。
- ②院内巡視を行いました。
- ③医療福祉生協連の虹のブックレット「院所利用委員会の役割と利用委員会活動」をテキストに学習を行いました。
- ④群馬県生協連第49回生協大会で、歯科診療所利用委員会が表彰されました。

**(介護事業所)**

- ①委員会を介護事業所持ち回りでを行い、事業所巡視も位置付け、利用しやすい事業所づくりをめざしました。
- ②組合員に介護活動を情報発信していくことが弱かったです。

**(4) 健康づくり**

- ①「はるな健康体操」を毎月取り組みましたが、広く普及するまでには至りませんでした。
- ②健康チャレンジを高崎市及び高崎市教育委員会の後援をえて取り組みました。参加者は417人となりました。
- ③「まちかど健康チェック」は、コープ寺尾店(5月30日)、イオンモール高崎(9月12日)、地域の要望に応じて上中居(10月2日)で取り組みました。
- ④健康ハイキングでは、晩秋の上野三碑(金井沢碑・山上碑)を歩きました。
- ⑤健康づくりに関する学習会を開催することはできませんでした。
- ⑥高崎市との懇談は、年度内で行うことができず、引き続きの課題となっています。

**(5) 組合員活動**

**<地域に協同の「わ」をひろげる活動>**

- ①「はるな生協の活動2017」パンフレットを作成しました。広く生協の活動を紹介し、さまざまな協力協同、連携を行っていること、参加することで仲間とつながり安心な地域づくりになることを知らせました。
- ②気軽に集まれる場所がほしいという声が組合員から出ています。場所を探して借りることも視野に入れながら、現状では定例班会も居場所、たまり場として活動を続けています。
- ③新班が4班でき(健康づくりで1班、趣味で3班)、休眠班も1班活動を再開しました。まずは参加してもらおうことで、楽しんで仲間増やしにつながりました。
- ④機関紙「緑十字」の配布数は横ばいです。新規加入の組合員への配布を強めました。また、「機関紙配布率アッププロジェクト」を2月に設置し、検討が始まりました。広報紙は、持ち越し課題です。
- ⑤反貧困実行委員会を中心に、他団体とも連携し、路上生活者支援炊き出し(月2回、年24回)、ハローワーク前なんでも相談会(月1回、年11回)を継続しました。また、子どもの貧困に目をむけた「ふれあい子ども食堂」を始めました(7月より8回)。
- ⑥ボランティア交流会を3回開催し、学習や実習参加者の交流が進みました。「ボランティアだより」を6回発行し、さまざまな活動を知らせました。
- ⑦群馬県生協連女性協議会へ運営委員を送り、会員生協交流会や組合員学習交流会、消費者まつりなどに参加しました。

**<組合員と職員の協同を強める活動を推進します>**

- ①組合員・職員交流集会(8月25~26日)に78人が参加し、ともに「いのちの章典」を学びました。グループワークでは、テーマにそって地域、職場の実践が出され、学習とともに交流が深まりました。
- ②班会への職員参加はのべ277人でした。班会の他に地域訪問、支部役員会、配達者の集いなどに参加しました。
- ③第23回健康まつりは、悪天候のため、残念ながら中止しました。第18回通町診療所ふれあいまつりには80人が来場し、組合員・職員が協力して盛大に開催されました。

**<組織活動の質的強化をめざします>**

- ①支部の自立的、自主的な運営をめざしましたが、新しい支部はできませんで

- した。
- ②支部代表者会議を2回開催し、83人が参加しました。支部の取組みが紹介され、月間の活動に活かされました。
- ③各事業所の個別送迎や生協の助け合いの活動などを機関紙やチラシを使い、広めました。

**(6) 教育文化活動**

- 映画上映会、群馬の歴史散歩、うたごえ喫茶、新春講演会など行いました。
- ①文化行事企画として映画「校庭に東風吹いて」を上映しました。場面緘黙症の子供や貧困のため問題を起こす子供に寄り添い、子どもの生きる力を信じた教育の物語で、希望のある感動的な作品でした。370人の入場があり、アンケートでは89%が良かったと好評でした(9月22日、高崎シティギャラリーコアホール、3回上映)。
- ②文化サークル活動として、「群馬の歴史散歩」に取り組みました(4月「高崎駅周辺の史跡を訪ねて」、9月「世界かんがい遺産長野堰を歩く」、11月「市内北部方面の史跡を訪ねる」、2月第30回記念「上州七福神巡り」)。
- ③一昨年から始まった「うたごえ喫茶」は年間行事となり、4回開催しました。毎回20人から40人の参加で盛況でした(5月、8月、11月、3月、ふれあい会館)。
- ④新春講演会は、佐藤副病院長を講師に、患者となった体験からの健診の大切さや健康づくりに役立つ話を聴きました。(2月17日、ふれあい会館)。

**(7) 社会保障・平和を守る活動**

医療保険制度改革関連法が成立し、医療分野では、2017年8月から高額療養費制度で一定以上の収入のある70歳以上を対象に負担上限額を引き上げ、窓口負担では75歳以上も段階的に2割負担の導入が計画されています。さらに、2018年4月から国民健康保険都道府県単位化が決まりました。また、介護保険分野においては、要支援1、2の方への訪問介護・通所介護が新総合事業として市町村事業へ移行することになりました。また、「平和安全保障関連法(戦争法)」は、憲法9条が禁じる国際紛争解決のための武力行使を可能とするため、廃止を求める市民運動へと発展しました。医療や介護の制度改悪に反対する取り組みとともに、戦争法を廃止し、憲法9条を守りいかに取り組み、原発をなくす取り組みを進めてきました。

**(社会保障を守る活動)**

- ①医療や介護の改悪に反対する運動(署名や集会)に積極的に取り組んできました。
- ②高崎市社会保障推進協議会(高崎社保協)の集会や学習会に参加し、高崎市をはじめ西毛地域の自治体と懇談を行い、組合員や現場の声を行政に届けました。
- ③東日本大震災への被災地支援活動に引き続き取り組み、支援物資を提供しました。また、九州北部豪雨災害義援募金では55,899円の募金が集まり、医療福祉生協連と全日本民医連を通じて届けました。

**(平和を守る活動)**

- ①高崎駅東口ヤマダ電機前で共謀罪(テロ等組織犯罪準備罪)創設反対や9条改憲を止める街頭宣伝と安倍9条改憲NO!憲法を生かす全国統一署名(3000万人署名)行動を行いました。
- ②国民平和大行進のメインコース、網の目コース合わせて181人の組合員、職員が参加し、核兵器廃絶を沿道の人達にアピールしました。
- ③原水爆禁止世界大会(長崎)へ組合員1人、職員2人が参加するとともに、折り鶴を長崎へ送りました。また各事業所で「原爆パネル展示」を実施しました(8月1日~8月10日)。派遣カンパには、多くの組合員や職員の協力で128,849円が集まりました。
- ④原子力発電所をなくすことをめざし、引き続きさよなら原発アクションなどの集会に参加しました(3.11さよなら原発アクションin高崎、城址公園、130人)。
- ⑤福島被災地見学を開催し、24人が参加して被災地の実態を学びました(6月24日)。
- ⑥第31回高崎平和コンサートで原水爆禁止世界大会の参加報告も行いました(10月20日、高崎シティギャラリー・コアホール)。

**第3回はるな元気塾のご案内**  
**私の意思表示ノート**  
 (インディグノート)の活用について

お話し: 佐藤看護部長  
 ほほえみの杜 横井施設長

7月23日(月) 14:00~15:00

組合員ふれあい会館2階

定員: 40人(定員になり次第締め切り)

(参加希望の方は必ず申し込みください)

参加費: 無料

**私の意思表示ノート350円(税込)**

利用委員会では、私の意思表示ノート(インディグノート)を作成しました。第3回元気塾では、私の意思表示ノートの活用について学習します。ノートは当日販売いたします。多くの方の参加をお待ちしております。



**第10回 うたごえ喫茶**

**みんなで楽しく!**  
**歌いましょう!**



7月4日(水)

14時~16時

受付開始 13:30~

場所: 通町診療所3階ホール

参加費: 200円

定員: 40人

(定員になり次第締め切り)

※診療所の駐車場は、うたごえ参加者用にはありません。申し訳ありませんが、近隣の駐車場へとめて下さい。

**お問い合わせは**

**組合員活動部**

**電話: 027-323-2762**



7月9日(月) 14時より、ボランティア交流会を開催します。今回のテーマは「足浴」です。リラククス効果も期待される「足浴」を一緒に学んでみませんか。相互実習です、してもらおう気持ちよさも経験できます。

クリスマスプレゼント作りも先月に引き続き、毎月第3水曜日に実施しています。

是非沢山の方の参加をお待ちしています。

6月20日、7月18日 14時から、組合員ふれあい会館で行っています。

**足浴で**  
**リラククス**





# 5月の支部総会

## 六郷支部

5月12日8人の参加で支部総会を行いました。活動方針から早速6月のお出かけ班会を計画しました。



## 群馬町支部

群馬町支部の総会は、5月14日に行われました。保健師の健診の話し、健康チェックを企画し箕郷支部へも声をかけ11人が参加しました。

## 江木支部

江木支部の総会は5月22日12人の参加で行われました。年間計画は参加者からアンケートをとって決めていきます。



## 中居第二支部

5月15日中居第二支部では12人が参加しました。ほほえみデイサービスの話しを職員から聞きました。



## 吉井町支部

5月19日吉井町支部総会が、通常班会の後8人が参加し行われました。活動計画では職員を呼んでの学習会を近隣の支部に声をかけて取り組もうと話し合われました。

## 石原支部

5月30日、石原支部総会は24人が参加。あおば薬局高崎店の真木店長と実習生(1人)も参加しました。



\* \* \*

5月はこの他に、高南支が17日、参加者15人で総会と笑いヨガを行いました。佐野支部は9日、牛伏ドリムセンターに出かけて総会を開催6人が参加しました。6月には乗附支部、片岡・八千代支部が支部総会の開催を予定しています。

## 地域で女性が活躍できる社会を求めて =会員生協活動交流会=

どんよりした天候の5月23日、群馬県生協連女性協議会が主催する会員生協活動交流会が前橋市会場で行われました。全体参加者は46人で、はるな生協からは理事や支部役員など5人が参加しました。



テーマは、暮らしやすい地域づくりのため。基調講演では群馬県立女子大の小林良江学長をお招きして、「地域に

おける女性リーダーの役割」と題したお話。男女の差別のない平等の考え方が大切であり、制度はあってもそれを活かすことのできる社会的構造の変化が求められています。

## 国会議員要請体験

5月22日群馬民医連主催の新人職員国会議員要請体験が行われました。県連全体では、引率も含め106名が参加し、はるな生協から新入職員16名、引率2名の18名が参加しました。

今回、新入職員国会議員要請体験に参加させて頂き、初めて衆議院、参議院に入りました。国会議員に要請するといっても、どのようなことをするのか分かりませんでした。実際に要請内容を手渡すことで、自分たちの意思を少しは相手に伝えることが出来たのではないかと思います。今患者さんや身の回りの人が困っていることに



歯科衛生士 (歯科診療所)

## 2018年 国民平和大行進参加のお願いと 原水爆禁止2018年世界大会(広島)の参加者募集について 社会保障委員会

☆今年もまた国民平和大行進が全国で始まり、群馬県には7月6日(金)に平和行進の横断幕が碓氷峠で引き継がれます。1958年に最初の平和行進が行われ、今では8割近くの市区町村で毎年10万人が参加する国民運動に成長しました。是非、組合員・職員の方々に御参加を呼びかけます。皆さんで平和を訴えながら歩きましょう。

日程: 7月13日(金) 9:00より出発集会(高崎市役所前) 高崎・メインコース(高崎~前橋)

高崎市役所前出発 9:30→前橋市役所到着 16:00 (16:00すぎ前橋への引継ぎ集会、17:00解散)

※午前のみ、午後のみ参加可。お弁当の必要な方は、申込み時にお伝え下さい。

〈高崎・網の目コース日程〉

・7/8(日) 倉沢コース [倉沢支所10時出発]

・7/15(日) 榛名コース [榛名支所9:30出発]・箕郷コース [箕郷支所9:30出発]・群馬コース [群馬支所9:30出発]

参考: 〈西毛地域メインコース日程〉 7/7(土) 碓氷峠~松井田 [碓氷峠9:00出発]、7/8(日) 松井田~安中 [松井田支所9:15出発]、7/9(月) 安中~富岡 [安中市役所9:15出発]、7/10(火) 富岡~吉井 [富岡市役所10:15出発]、7/11(水) 吉井~藤岡 [吉井支所13:30出発]、7/12(木) 藤岡~高崎 [藤岡市役所9:00出発]

★お申込み連絡先→TEL: 027-323-2762 組合員活動部・野村まで  
★お申込み期限→6月29日(金)まで(期限厳守)  
ご注意: 申込み対象コースは、7/13メインコースと7/8倉沢コースのみに限ります。

☆原水爆禁止2018年世界大会が今年も開催されます。今年は、広島がメイン会場となります。〈日程: 8月4日(土)~6日(月)〉はるな生協より今回は、3名(組合員1名・職員2名)を代表派遣することになりました。つきましては、組合員の参加者を1名募集致します。尚、こちらは人数制限がある為、決まり次第締め切らせて頂きます。

原水爆禁止2018年世界大会(広島)  
参加者募集: 決まり次第、締め切らせて頂きます。  
★お申込み連絡先、お申込み期限→同上